

県内で交通死亡事故が急増中！

油断しないで安全運転を



小さな気の緩みが大事故につながります (写真はイメージ)

現在、県内では交通死亡事故の発生件数が急増しています。自動車は、身近で便利な乗り物ですが、ドライバーの運転によって時に人を傷つけてしまう凶器にもなります。また、歩行者も夜道において反射材や明るい色の服装を心掛けることで、ドライバーからの視認が早くなり、安全を確保することができます。明日は我が身——、常に相手の視点に立った思いやりの心で、交通事故を防ぎましょう。

◇県内の交通死亡事故発生状況

9月9日現在、県内の交通死亡事故死者数は48人となっております。前年比で12人の増加。これは、交通事故死者数増加率で全国ワースト3位、死者数では東北6県中最多(福島県47人、宮城県41人、山形県30人、青森県26人、秋田県19人)となっております。宮古警察署管内においては、

3月23日に宮古市内の国道106号において道路を歩行していた人を車両がはね、歩行者が死亡。4月20日には同市内の岸壁から自動車が転落し2人が死亡するという痛ましい事故が発生しました。

◎本当に「安全な速度」ですか

ドライバーの皆さんの多くは、速度の出し過ぎが危険であるこ

とを理解し、規制速度で走行していると思います。

規制速度は、基本的な守るべき速度の目安。「安全な速度」は、道路状況や時間など、その場の状況に応じて変化するものです。ドライバー自らが道路状況をしつかり確認し、事故や危険を回避できる「安全な速度」で走行するようにしましょう。

◎単調な道路でも油断は禁物

交通量が少なく運転が単調な道路でも油断は禁物。単調な道路では、注意力がさらに低下していく「**覚低走行**」という状態に陥ってしまいます。

覚低走行とは、睡眠不足などではない良好な心身状態で、目もパッチリ開き眠気もないにも関わらず、「居眠り運転」と

同じくらい注意力が低下した危険な状態で走行していることをいいます。長時間の運転は控え、こまめに休憩を取りましょう。

◇油断しないで安全運転を！

▼ドライバーの皆さんへ

気の緩みは、安全運転の軽視や危険の見落としなどにつながり、いつもなら守っているはずの「一時停止」や「安全確認」も省略しがちになります。また夕暮れ時は「ライトの早め点灯(※)」を心掛け、歩行者の早期発見に努めましょう。

いつも通り慣れた道だからこそ、気を引き締めて安全運転を心掛けてください。

※ライトは「上向き点灯での走行」が原則です。対向車などの状況に応じ上向きと下向きをこまめに切り替えましょう。

▼歩行者の皆さんへ

道路を横断する際は、必ず立ち止まって左右の確認をしましょう。「車が止まるはず」「自分に気付くはず」と過信するのは事故につながります。また、外出時は反射材やLEDライトの着装、明るい服装にするなど、自分の命は自分で守りましょう。

◆問い合わせ

宮古警察署 (☎64-0110) または宮古警察署山田交番 (☎82-2155) へどうぞ。